

平成29年度

岡山県ごみゼロ社会プロジェクト推進会議

資 料

平成29年5月12日（金）

ピュアリティまきび

3階「橘」

目 次

I 平成 28 年度の取組実績について

1 会議の開催	・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2 重点取組事業		
(1) おかやま・もったいない運動の推進	・・・・・・・・・・・・・・・・	2
(2) マイバッグ運動・レジ袋削減事業の実施	・・・・・・・・・・・・・・・・	5
3 食品ロス対策	・・・・・・・・・・・・・・・・	13
4 その他普及啓発事業	・・・・・・・・・・・・・・・・	18

II 平成 29 年度の取組（案）について

1 会議の開催	・・・・・・・・・・・・・・・・	21
2 重点取組事業		
(1) おかやま・もったいない運動の推進	・・・・・・・・・・・・・・・・	22
(2) マイバッグ運動・レジ袋削減事業の実施	・・・・・・・・・・・・・・・・	24
(3) 食品ロス削減の促進	・・・・・・・・・・・・・・・・	26
3 その他普及啓発事業	・・・・・・・・・・・・・・・・	27

I 平成 28 年度の取組実績について

1 会議の開催

平成 28 年度岡山県ごみゼロ社会プロジェクト推進会議に係る会議を次のとおり開催した。

(1) 第 1 回ワーキング会議

ア 日 時 平成 28 年 4 月 19 日 (火) 10 : 00 ~ 12 : 00
イ 場 所 県庁 9 階 環境文化部会議室
ウ 出席者 委員、事務局
エ 議 題 ・平成 27 年度の取組実績について
・平成 28 年度の取組 (案) について

(2) 本会議

ア 日 時 平成 28 年 4 月 25 日 (月) 13 : 30 ~ 15 : 30
イ 場 所 ピュアリティまきび 2 階「千鳥」
ウ 出席者 委員、事務局
エ 議 題 ・平成 27 年度の取組実績について
・平成 28 年度の取組 (案) について 他

(3) おかやま・もったいない! 小学生ファミリーエコチャレンジコンテスト審査選考会

ア 日 時 平成 28 年 10 月 24 日 (月) 9 : 30 ~ 12 : 30
イ 場 所 県庁 9 階環境文化部会議室
ウ 出席者 審査員 4 名

(4) おかやま・もったいない! 小学生ポスター (絵画) コンクール審査選考会

ア 日 時 平成 28 年 10 月 26 日 (水) 18 : 00 ~ 20 : 00
イ 場 所 ピュアリティまきび 3 階 「飛翔」
ウ 出席者 審査員 2 名

2 重点取組事業

(1) おかやま・もったいない運動の推進

「もったいない」をキーワードとして、循環型社会の形成に向けた 3R（発
生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル））と地
球温暖化防止についての県民一人ひとりの意識改革と実践活動を促すため、
「おかやま・もったいない運動」を次のとおり推進した。

ア 「おかやま・もったいない運動」推進フォーラムの開催

6月の環境月間及び10月の3R推進月間等に、県内3県民局が管内市町と
協働で開催した。

<6月>

- ぐらしき環境フェスティバル

日 時：平成28年6月4日（土） 9時30分～16時

場 所：水島愛あいサロン [倉敷市水島東千鳥町1-50]

内 容：体験コーナー、展示コーナー、クイズラリー

来場者数：3,500人

- 「親子エコフェスタ2016」～地球の未来を守ろう みんなで3R！～

日 時：平成28年6月12日（日） 10時30分～15時30分

場 所：アルネ津山及び津山市中心商店街 [津山市新魚町17他]

内 容：体験コーナー、展示コーナー

来場者数：約1,200人

- 「もったいないホテルバスツアー2016」

日 時：平成28年6月18日（土） 19時30分～22時

場 所：北房文化センター及びほたる公園周辺 [真庭市上水田3131他]

内 容：4Rについての講演等

参加者数：120人（事前予約制）

<10月>

- 第12回わっしょい和んさか吉備高原フェスタ

日 時：平成28年10月2日（日） 10時～16時

場 所：吉備高原都市センター区 さんさん広場周辺

[吉備中央町吉川4860-6]

内 容：「もったいない」トーク、エコバッグ配布、体験コーナー、
展示コーナー等

来場者数：約40,000人

- 笠岡市環境フェスティバル

日 時：平成 28 年 10 月 29 日（土） 10 時～15 時

場 所：笠岡市民会館[笠岡市六番町 1-10]

内 容：体験コーナー、展示コーナー、スタンプラリー等

来場者数：約 1,000 人

- ぐるりんクルクル～省資源・省エネルギー展～

日 時：平成 28 年 10 月 30 日（日） 9 時 30 分～15 時

場 所：玉野市リサイクルプラザ[玉野市槌ヶ原 3072-1]

内 容：「もったいない落語」、体験コーナー、展示コーナー、
スタンプラリー等

来場者数：約 400 人

< 3 月 >

- おひなさまフェスタ

日 時：平成 29 年 2 月 26 日（日）～3 月 3 日（金）

場 所：リサイクルプラザ・おく[瀬戸内市邑久町尾張 483-6]

内 容：手作り体験コーナー、リサイクル品を活用したおひなさま等
の展示、パネル展示等

来場者数：約 800 人

イ おかやま・もったいない！小学生ポスター（絵画）コンクール

県内の小学校に在学する児童を対象に「もったいない」をテーマとした（ごみの減量化、3R推進等）ポスター（3年生以上）や絵画（1,2年生）を募集し、優秀作品を表彰した。

- 応募数 80校、749作品
- 受賞者 岡山県知事賞3名
岡山県ごみゼロ社会プロジェクト推進会議会長賞3名
岡山県環境文化部長賞9名
優秀賞15名

ウ おかやま・もったいない！小学生ファミリーエコチャレンジコンテスト

県内の小学校、小学生とその家族を対象に、夏休みを中心とした期間に家庭でできる「3R推進」や「地球温暖化防止」に向けた取組にチャレンジした報告を募集し、優秀な取組を表彰した。

- 応募数 14校、395点
- 受賞者 個人の部（最優秀賞1名、優秀賞5名、努力賞10名）
団体の部（最優秀賞1校、優秀賞3校）

※ 表彰式（「アースキーパーのつどい2016」において開催）

- 日時： 平成28年12月18日（日）11時～12時
- 場所： 岡山コンベンションセンター
2階レセプションホール・ロビー
- 参集者： 主催者、受賞者、保護者等 約200名
- 内容： 主催者挨拶、表彰状授与、講評、記念撮影 等

※ 作品展示会

平成28年度の受賞作品について、県内3箇所で開催した。

- 岡山会場
展示期間： 平成28年12月21日（水）～26日（月）
展示場所： クレド岡山 20階 スカイギャラリー
- 倉敷会場
展示期間： 平成29年1月9日（月・祝）～15日（日）
展示場所： イオンモール倉敷 1階 セントラルコート
- 津山会場
展示期間： 平成29年1月23日（月）～29日（日）
展示場所： イオンモール津山 1階 カメラのキタムラ前スペース

(2) マイバッグ運動・レジ袋削減事業の実施

ア 岡山県統一ノーレジ袋デーの取組について

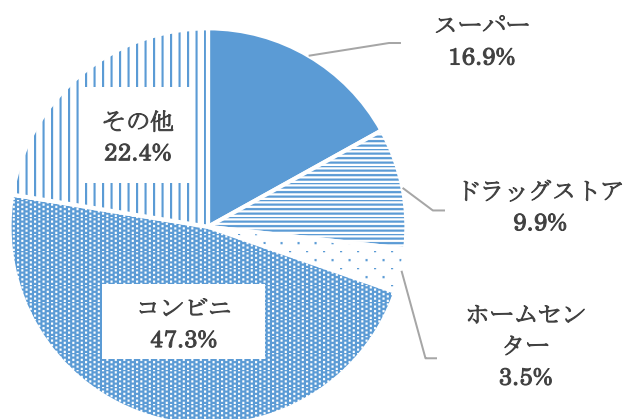
(ア) 参加店舗の現状

現在の参加店舗数は、1,553 店舗（平成 29 年 4 月 1 日現在）で、昨年度同期の 1,550 店舗に比べ 3 店舗増加している。

内訳は、チェーン店などのグループ店が 1,330 店舗（85.6%）、個人の小売店が 223 店舗（14.4%）で、業態別では、スーパーマーケットが 263 店舗（16.9%）、ドラッグストアが 153 店舗（9.9%）、ホームセンターが 55 店舗（3.5%）、コンビニエンスストアが 734 店舗（47.3%）、その他が 348 店舗（22.4%）となっている。

市町村別では、新庄村、西栗倉村以外の 25 市町に参加店があり、岡山市が 38.9%と一番多く、次いで倉敷市が 22.1%、津山市が 7.0%となっている。

<業態別内訳>



<市町村別内訳（上位 10 市）>

	市町村名	店舗数	構成比
1	岡山市	603	38.9%
2	倉敷市	345	22.1%
3	津山市	108	7.0%
4	新見市	52	3.4%
5	真庭市	46	3.0%
6	赤磐市	42	2.7%
7	玉野市	41	2.6%
7	総社市	41	2.6%
9	瀬戸内市	36	2.3%
10	笠岡市	33	2.1%

(イ) レジ袋辞退率の推移

平成 28 年 11 月の平均辞退率は 25.5%で、4 月～2 月までの辞退率は、23%台～26%台となっている。

実施日	H28. 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	H29. 1月	2月
平均辞退率 (%)	25.5	26.4	24.6	24.5	23.4	24.7	24.6	25.5	25.2	26.5	24.8
スーパーマーケットの辞退率 (%)	26.7	28.1	27.1	25.5	25.5	25.6	25.8	26.2	25.3	27.2	25.8

(ウ) 普及啓発の状況

① 若い世代へ働きかける各種啓発を行った。

- ・ 高校生・・・県立岡山東商業高等学校「東商デパート」チラシへの呼びかけ文使用や、会場での啓発品（ポケットティッシュ、チラシ）配布を依頼した。
- ・ 大学生・・・入学式での啓発（7大学1,700人にチラシ等配布）、「おかやまマイバッグキャンペーン」岡山駅啓発への参加（岡山理科大学）を呼びかけた。
- ・ 新成人・・・成人式での啓発（27市町村約8,400人にチラシ配布）

② イベントでの普及啓発

巡回エコ製品等普及展示会やおかやま・もったいない運動推進フォーラムで、展示や来場者への啓発品の配布などを行った。



(平成 28 年 6 月 12 日 津山市)




(平成 28 年 10 月 29 日 笠岡市)

③ テレビ、ラジオ、広報紙等の広報媒体の活用

「岡山県統一ノーレジ袋デー」については、OHK テレビ、RSK ラジオ、FM おかやまでのお知らせ、県政広報資料、NHK データ放送、ホームページ、フェイスブック掲載などにより周知を図った。

○フェイスブック「ごみゼロ・プロジェクト」

 **ごみゼロ・プロジェクト**
2016年11月2日 9:07

♪ 11月は「おかやまマイバッグキャンペーン」月間です♪

お出かけの際には、お財布と一緒にマイバッグをお忘れなく！
11月は「おかやまマイバッグキャンペーン」月間。県内各地でマイバッグ持参の呼びかけが行われます。
お近くの店舗や市町村の行事でキャンペーン活動を見かけましたら、ぜひご協力をお願いします... 続きを読む



(エ) 啓発資材の作成及び送付

啓発グッズ（のぼり旗、ポスター、ステッカー、チラシ、辞退カード）を、希望する事業者（店舗）、市町村等に送付した。

また、環境学習に取り組む県内の小学校4年生約2万人にクリアファイルを配布した。

のぼり旗



ポスター



ステッカー



辞退カード



(チラシも同デザイン)

イ おかやまマイバッグキャンペーンの取組について

(ア) 街頭や店頭での普及啓発活動

県循環型社会推進課、各県民局、各市町村などが主体となり事業者（店舗）や環境団体と協働して、6月と11月にJ R岡山駅及び県内各参加店舗の店頭等において、チラシ及び啓発品等を配布し、普及啓発活動を実施した。

○ J R岡山駅前（6月10日）

県（備前県民局と合同）・岡山市

○ 高梁市（11月10日）



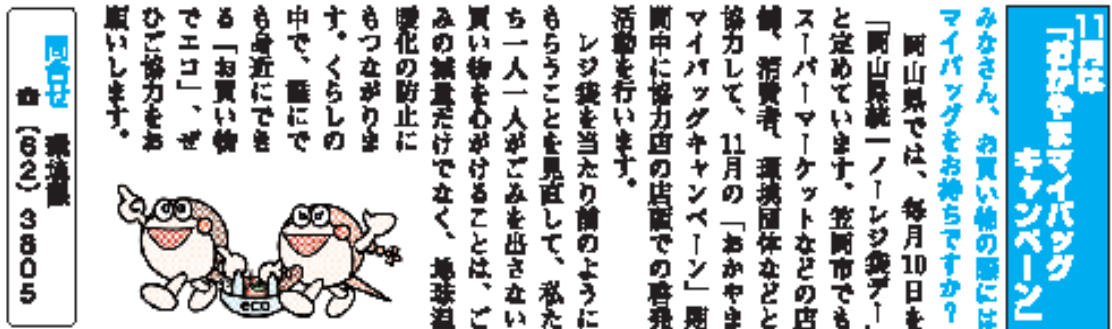
(イ) 新聞、ラジオ、広報紙等などの広報媒体の活用

OHK テレビ、RSK ラジオ、NHK データ放送、ホームページ、フェイスブック等で「おかやまマイバッグキャンペーン」についてお知らせした。

また、各市町村発行の広報紙等において広報を行った。

○ 広報紙

(笠岡市)




11月は「おかやまマイバッグキャンペーン」

みなさん、お買い物の際にはマイバッグをお持ちですか？

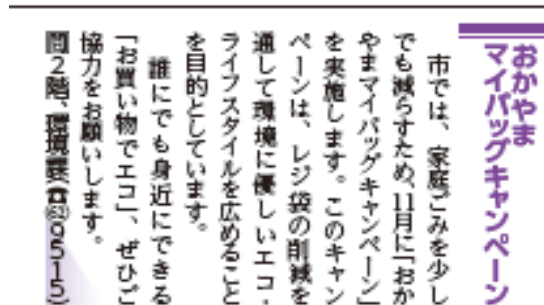
岡山県では、毎月10日を「岡山県統一ノーレジ袋デー」と定めています。笠岡市でもスーパーマーケットなどの店舗、消費者・環境団体などと協力して、11月の「おかやまマイバッグキャンペーン」期間中に協力店の店頭での啓発活動を行います。

レジ袋を当たり前のようにもらうことを見直して、私たち一人一人がごみを出さない買い物心がけることは、ごみの減量だけでなく、地球温暖化の防止にもつながります。くらしの中で、誰にでも身近にできる「お買い物でエコ」、ぜひご協力をお願いします。

岡山県 環境課
☎(82)3805



(井原市)



おかやまマイバッグキャンペーン

市では、家庭ごみを少しでも減らすため11月に「おかやまマイバッグキャンペーン」を実施します。このキャンペーンは、レジ袋の削減を通して環境にやさしいエコ・ライフスタイルを広めることを目的としています。

誰にでも身近にできる「お買い物でエコ」、ぜひご協力をお願いします。

問合せ先 環境課 ☎3805

(里庄町)

買い物の際には「マイバッグの持参」を！
～11月は「おかやまマイバッグキャンペーン」期間です～



皆さん、買い物の際にはマイバッグをお持ちですか？

岡山県では、スーパーマーケットやドラッグストア、ホームセンターなどの店舗、消費者・環境団体等、市町村と協力して、11月に「おかやまマイバッグキャンペーン」を実施します。

家庭からは毎日、生ごみ、紙類、容器包装類など多くのごみが出されています。「おかやまマイバッグキャンペーン」は、レジ袋の削減を通して環境にやさしいエコ・ライフスタイルを広めることを目的としています。

レジ袋を当たり前のようにもらうことを見直して、私たち一人ひとりがごみを出さない買い物を心がけることは、ごみの減量だけでなく、地球温暖化の防止にもつながります。

皆さんもこの機会にマイバッグを持参して、レジ袋の削減にご協力をお願いします。

そして、包装ができるだけ少ない商品、再利用できる容器や詰め替え製品を選ぶなど、毎日の買い物から環境にやさしい生活を始めましょう！

【問合せ先】町民課（住民担当） ☎64-3112

(ウ) 啓発資材の作成及び送付

「おかやまマイバッグキャンペーン」の普及啓発を目的とし、啓発ポスターを作成するとともに参加事業者（店舗）及び市町村等に送付した。

また、「マイバッグ持参」を基調としたチラシ及びティッシュを作成し、市町村等に送付した。

ポスター



チラシ



ポケットティッシュ



(エ) 岡山県立図書館連携展示

県立図書館1階エントランス付近において、ポスター等印刷物、関連図書等を展示することにより、普及啓発及び情報提供を行った。

- 平成28年5月17日（火）～6月19日（日）

展示内容：マイバッグ運動、環境月間、3R、食品ロス等



連携展示「ごみ減量とエコライフについて」(H28.5.17～H28.6.19)

(オ) マイバッグチャレンジャー事業

11月の「おかやまマイバッグキャンペーン」の期間中に実施した。

● 目 的：

幼稚園児には、マイバッグを使った買い物の仕方を体験していただくことにより、保護者には「マイバッグ持参」の意義を理解していただくことにより、ごみの減量化、地球温暖化防止につながる環境に配慮した暮らし方について、家庭で取り組むきっかけとしていただく。

● 日 時：平成28年11月21日（月）14:00～15:00

● 実施場所：イオン岡山 1階「イオンスタイル」食料品売り場

● 参加者数：幼稚園児 17名・保護者 16名（2つのチームに分かれる）

● 実施方法：（保護者は適宜補助）

- ・ 買い物用のマイバッグは当日参加園児に一人1袋配布する。
- ・ 店内用のかごを持ち、マイバッグは折りたたんだままで持つ。
- ・ 200円以内の商品をかごに入れる。（購入商品は自由・費用は参加者負担）
- ・ レジに持って行き「レジ袋はご入り用ですか」と聞かれたら「レジ袋はいりません」と答える。
- ・ お金を払い、商品を自分でマイバッグに入れる。
- ・ 買い物をしていない方のチームス「ごみの分別」「食品ロス」についてのクイズに取り組む。

● 保護者の感想等：

- ・ 子どもがごみについて知るいい機会になった。
- ・ 子ども用のマイバッグを持たせてみようと思った。
- ・ 保護者自身、買い物時にマイバッグを持参しようと思った。
- ・ マイバッグや食品ロスについて知るいい機会となった。

等



ウ マイバッグ持参率等アンケート調査について

マイバッグ持参率等を把握するため、平成 29 年 1 月～3 月に、県内 15 店舗で実施することとし、株式会社東京商工リサーチ岡山支店に委託した。(資料 1)

- (ア) 調査数 合計 3,000 人(1 店舗につき 200 人)
- (イ) 調査方法 買物客への聞き取り調査又は直接記入
- (ウ) 調査結果
- ・マイバッグ持参率 (マイバッグ持参回数が 10 回のうち 8 回以上の人の割合)
 - 46.4 % (平成 27 年度 : 45.8%)
 - *マイバッグを持っている人だけを分母とした場合の上記比率は 57.2%
 - *マイバッグ所有率 81.1 % (平成 27 年度 80.9%)
 - ・レジ袋が有料になった場合、「マイバッグを持っていく」と答えた人の割合
 - 73.7 % (平成 27 年度 : 73.1%)
 - ・「有料化している店舗をどう思うか」
 - 賛成 27.7 % (平成 27 年度 : 26.4%)
 - 仕方がない 63.8 % (平成 27 年度 : 64.2%)
 - 合計 91.5 % (平成 27 年度 : 90.6%)

エ 県内のレジ袋無料配布中止の状況について

(ア) 実施状況

現在、レジ袋無料配布中止を実施しているのは、17 事業者 35 店舗である。(県把握分、試行も含む。)

市町村別レジ袋無料配布中止店舗一覧

*平成 29 年 4 月 1 日現在

市町村名	事業者名	店舗名	備考
岡山市	イオンリテール(株)	イオン岡山店	1 枚 LL5 円、L3 円
	生活協同組合おかやまコープ	コープ大野辻	1 枚 5 円(募金方式)
		コープ大福	
		コープ西大寺	
		コープ東川原	
		コープ福富	
	大黒天物産(株)	ディオ岡山北店	1 枚 3 円
	(株)トライアルカンパニー	スーパーセンタートライアル東岡山店	1 枚 3 円
	(株)ミスターマックス	ミスターマックス岡山西店	1 枚(大)5 円、(中)3 円
エコロジー&ナチュラルフーズ らんらん亭	—	1 枚 金額任意(募金方式)	

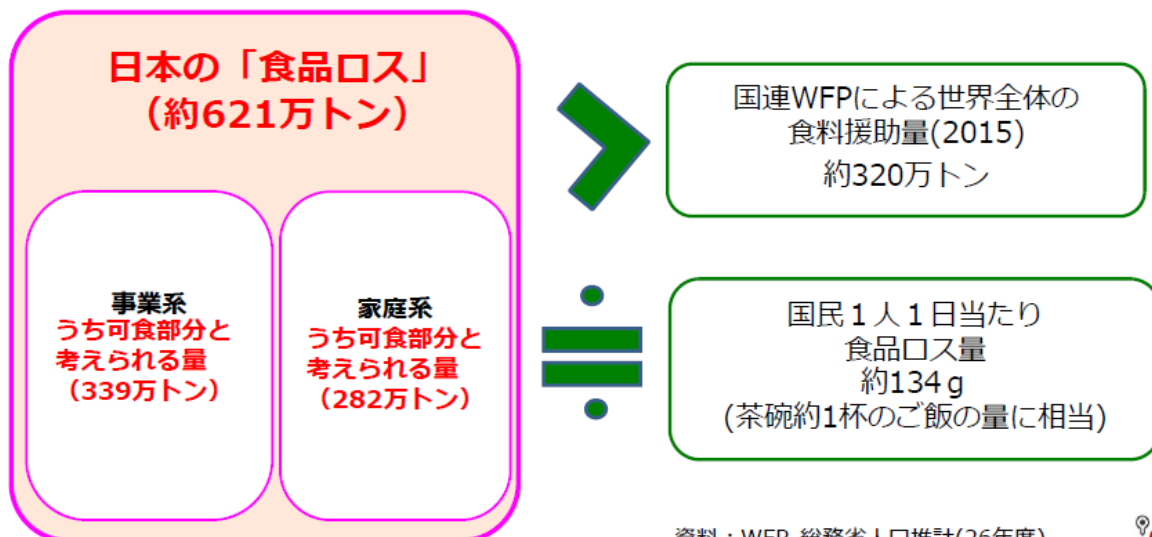
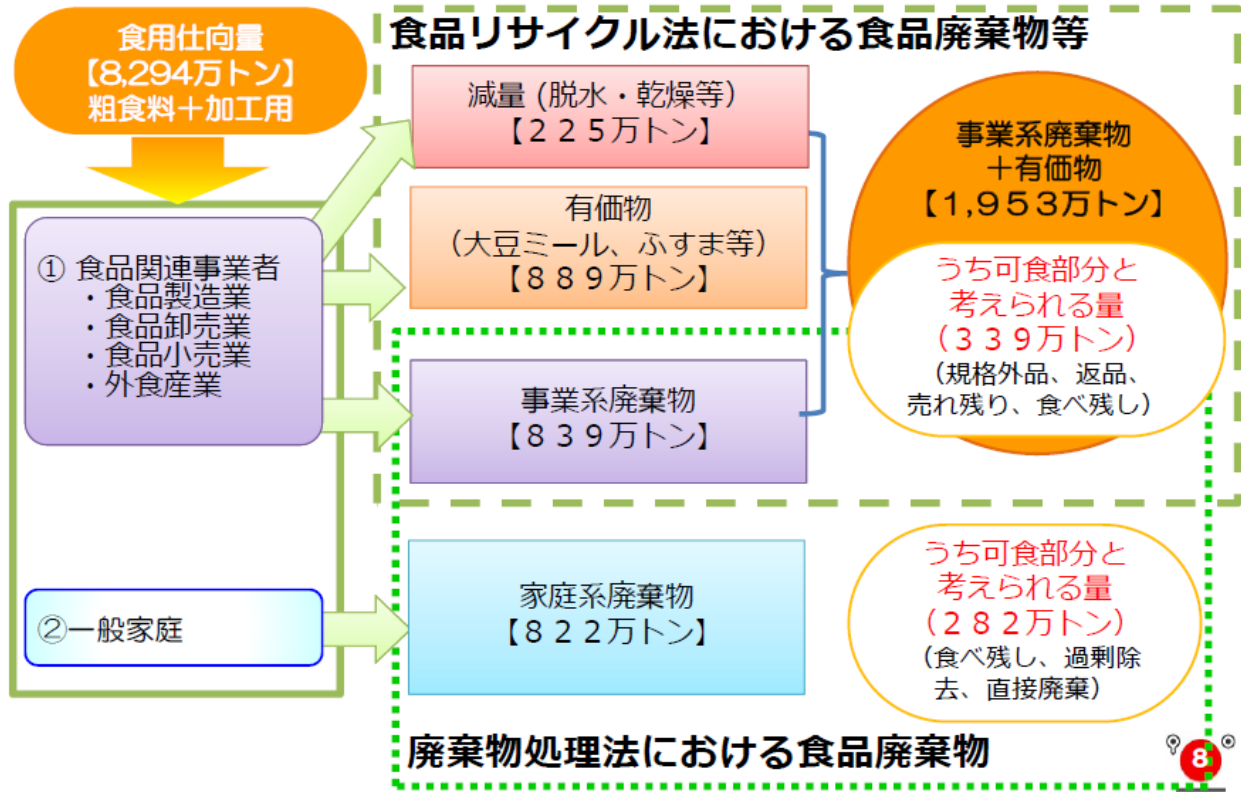
市町村名	事業者名	店舗名	備考
倉敷市	イオンリテール(株)	イオン倉敷店	1枚 LL5円、L3円
	生活協同組合おかやまコープ	コープ北畝	1枚 5円(募金方式)
		コープ倉敷北	
	大黒天物産(株)	ディオ真備店	1枚 5円
(株)トライアルカンパニー	スーパーセンタートライアル倉敷店	1枚 3円	
	スーパーセンタートライアル児島店		
津山市	イオンリテール(株)	イオン津山店	1枚 LL5円、L3円
	大黒天物産(株)	ラ・ムー津山店	1枚 5円
	生活協同組合おかやまコープ	コープ林田	1枚 5円(募金方式)
総社市	生活協同組合おかやまコープ	コープ総社東	1枚 5円(募金方式)
備前市	(株)ヒナセショッピングセンター	旬鮮食彩館 パオーネ日生店	1枚 (大)5円 (小)3円
赤磐市	生活協同組合おかやまコープ	コープ山陽	1枚 5円(募金方式)
浅口市	生活協同組合おかやまコープ	コープ鴨方	1枚 5円(募金方式)
和気町	岡山東農業協同組合	JAグリーン和気店	1枚 5円
		JAグリーン佐伯店	
		和気営農物流センター	
	オプタイムおか	—	1枚 5円
	グリーンストアーさわだ	—	1枚 5円
	(株)コメリ	コメリハードアンドグリーン和気店	1枚 5円
	(株)太陽コーポレーション	サンモール店	1枚 5円
	(株)天満屋ストア	ハッピーマート和気店	1枚 5円
	(有)林薬局	林薬局	1枚 5円
	(有)ビッグモリーズ	ビッグモリーズ	1枚 5円
マックスバリュ西日本(株)	ザ・ビッグ和気店	1枚 5円	
吉備中央町	(株)三穂の郷	ミホプラザ	1枚 2円

オ 県内事業者への働きかけ

3 食品ロス対策

(1) 国内における食品ロスの状況

● 食品廃棄物等の発生量（平成26年度推計）



資料：WFP, 総務省人口推計(26年度)

出典：「食品ロスの削減とリサイクルの推進～食べものに、もったいないを、もういちど。」
（平成29年4月 農林水産省）

日本では、年間約2,775万トンの食品が廃棄され、このうち本来食べられるのに廃棄されているもの（食品ロス）は、年間約621万トンと推計されている。

(2) 食品ロスに対する国際的な関心の高まり

○国連「持続可能な開発のための2030アジェンダ」(平成27年9月)

2030年までに小売・消費レベルにおける世界全体の一人当たりの食料の廃棄を半減させ、収穫後損失などの生産・サプライチェーンにおける食料の損失を減少させることが掲げられている。

○G7新潟農相会合(平成28年4月)

食料の損失・廃棄の削減について、経済・環境・社会において非常に重要な世界的問題であると強調。

○G7富山環境相会合(平成28年5月)

食品ロス・食品廃棄物の最小化に向けた取組の加速化を盛り込んだ「富山物質循環フレームワーク」を採択。

○日本再興戦略2016(平成28年6月)

- ・食品ロスの削減に向けて、食品事業者と消費者、行政の連携による国民運動を抜本的に強化。
- ・生産・流通・消費などの過程で発生する未利用食品を、必要としている人や施設に届けるフードバンク活動を推進。

(3) 国における取組

○「食品ロス削減関係省庁等連絡会議」を構成する5府省庁(消費者庁、文科省、農水省、経産省、環境省)による官民を挙げての食品ロス削減国民運動(NO-FOODLOSS PROJECT)を展開

- ・農林水産省…商慣習の見直しに向けたフードチェーン全体の取組、フードバンク活動を行う団体の取組への支援
- ・環境省…食品ロス・リサイクルに関する市町村の取組状況実態調査、3R見える化ツール等、学校給食で排出される廃棄物の3R促進のモデル化事業
- ・消費者庁…消費者に対する普及啓発等

○全国都道府県及び政令指定都市等環境担当部局長会議(H29.1.23)における環境省からの説明等

- ・都道府県等に対し、市町村と連携した域内の食品ロス発生状況の把握と削減に向けた取組促進を要請
- ・廃棄物処理法の基本方針(H28.1月)において、家庭から排出される食品廃棄物に占める食品ロスの割合の調査を実施したところのある市町村数を目標設定
H26年度49市町村 → H30年度200市町村

(4) 他の自治体における取組

○「全国おいしい食べきりネットワーク協議会」の設立

H28.10月に福井県を事務局として設立(H29.4.17現在287自治体参加)

【活動内容】

- ①「食べきり運動」の普及・啓発
- ②「食べきり運動」に関する取組みや成果の情報共有および情報発信

- ③前項のほか、食品ロス削減に関する取組みや成果の情報共有および情報発信
- ④国、民間団体、事業者等との連携および協働
- ⑤その他、前条の目的を達成するために必要な事業
- 松本市「残さず食べよう！30・10（さんまるいちまる）運動」
宴会時の食べ残し、飲み残しを減らす取組として、全国的に拡大中
- 中国地方の取組
 - ・「とっとり食べきり運動」「やまぐち食べきり運動」

(4) 岡山県の取組

○県計画への位置付け

- ・新岡山県環境基本計画～エコビジョン2020～（第2次改訂版）
「食品ロス削減の促進」を新規追加

まだ食べられるのに捨てられてしまう、いわゆる「食品ロス」については、その半分以上が一般家庭からといわれており、買すぎない、食材を使い切る、食べ切る等の食品ロスを減らすライフスタイルの定着に向け、啓発や情報提供を市町村と連携して行うとともに、飲食店等の事業者にも協力を働きかけながら、県民、事業者の削減行動を促進します。

- ・第4次岡山県廃棄物処理計画
食品ロス削減の促進<新規>（抜粋）

主 な 取 組
<ul style="list-style-type: none"> ○ <u>食品ロスを減らすためのライフスタイル</u>（買すぎない、食材を使い切る、食べ切る、余った食材の調理法等）<u>について情報提供や啓発を行い、排出抑制に努めます。</u> ○ 県は、<u>市町村に対し</u>、家庭系食品ロスの発生量の把握状況について確認するとともに、家庭系ごみの発生抑制がより一層推進されるよう、家庭系食品ロスの実態把握や住民への啓発活動への助言等の技術的支援を行います。 ○ <u>飲食店等の事業者に対し</u>、来店者への食べきりの声かけなど、<u>食品ロスを減らすための取組への協力を呼びかけ、市町村と連携した削減を目指します。</u>また、期間を定めたキャンペーンを展開し、食品ロス削減に対する県民意識の向上に取り組みます。

○平成29年度新規事業予算の要求

- ・食品ロス・家庭ごみ削減促進事業 [763万円]
食べられるのに廃棄される「食品ロス」を中心とした家庭ごみの削減を進めるなど、多方面への啓発を実施するための経費 ⇒ 事業内容は後掲

○県庁30・10運動の実施

- 食品ロス削減のための県自身の率先行動として、「30・10運動」を実施。
- ・取組期間 平成28年12月1日～平成29年1月12日
- ・実施呼びかけ箇所 知事部局、教育庁、警察本部

県庁30・10(さんまるいちまる)運動への参加をお願いします。

■幹事さんへのお願いです。

★宴会の企画時には

○お店の予約の際には、食べきれる量での料理の注文をお願いします。

★宴会中には

○各テーブルに、裏面の卓上POP(三角柱)の設置をお願いします。

○参加者の方に次のようなアナウンスをお願いします。

・開始時(例えば乾杯の後)

「本日の宴会では、食べ残しを減らす「30・10運動」に取り組みます。この後30分程度は、ご自分のお席で、目の前のおいしい料理や飲み物をお召し上がりください。」

・終了約10分前

「もう少ししたら中締めとさせていただきますが、今一度お席にお戻りいただき、残っている料理や飲み物をお楽しみください。」

★宴会が終わったら

○今後、この取組を県内に広めていきたいと考えていますので、皆さんが取り組んでくださったご感想を教えてください。

○「宴会の食べ残しが減った(減らなかった)」という結果だけでなく、「こんなやり方をしたらもっといいのでは」などという御提案も大歓迎です。

※アンケート用紙は、別途各所属にお送りします。




県庁「30・10」運動

- ・宴会の開始30分間は、席を離れずに料理をしっかりいただきましょう。
- ・その後の親睦タイムでも料理のことはお忘れなく！
- ・お開き前の10分間はもう一度席に戻って料理をいただきましょう。

※もったいないのは料理ではありません。ムリなお酌も控えましょう。

※ 日本では、年間 2,797 万トンの食品廃棄物等が出されており、このうち、まだ食べられるのに廃棄される食品、いわゆる「食品ロス」は 632 万トンもあるといわれています。(農林水産省及び環境省「平成25年度推計」)

【宴会時卓上POP】

<p>おかやま・もったいない！</p> <p>(さんまる いちまる)</p> <h1>30・10</h1> <h2>運動に</h2> <h3>御協力ください。</h3> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>★開宴後30分は、席を離れずに料理を楽しみましょう。</p> <p>★お開き前10分は、席に戻って食べきましょう。</p> </div>  <p style="text-align: center; font-size: small;">©岡山県「うらっち」</p> <p style="text-align: center; font-size: x-small;">岡山県環境文化部循環型社会推進課</p>	<div style="border: 2px solid blue; padding: 10px; text-align: center;"> <h3>たべきるんじゃー</h3> <h3>五箇条</h3> </div>  <ol style="list-style-type: none"> 1 適量を注文しましょう。 2 幹事さんから「おいしく食べきろう！」の声かけ 3 開始30分、終了10分は席を立たずにしっかり食べる。 「食べきりタイム」! 4 食べきれない料理は仲間で分け合しましょう。 5 お酒は無理強いせず、楽しく飲みましょう! <p style="text-align: center; font-size: x-small;">岡山県環境文化部循環型社会推進課</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <h3>食品ロス</h3> <h3>豆知識クイズ</h3> </div> <p>Q1 日本で食べられるのに廃棄される食品ロスの量で正しいのはどっち?</p> <p>A1 世界中の飢餓に苦しむ人への食糧援助量と比べると</p> <p>ア 食品ロスは食糧援助量の2倍</p> <p>イ 食品ロスは食糧援助量の2分の1</p> <p>Q2 賞味期限の説明で正しいのはどっち?</p> <p>A2</p> <p>ア おいしく食べられる目安 (過ぎたらすぐに食べられなくなるわけではありません)</p> <p>イ 楽しく食べられる目安</p> <p style="text-align: center; font-size: x-small;">岡山県循環型社会推進課HP</p>  <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>答えはこちらのHPをご覧ください</p> </div>  <p style="text-align: center; font-size: x-small;">©岡山県「ももっち」</p> <p style="text-align: center; font-size: x-small;">岡山県環境文化部循環型社会推進課</p>
--	--	---

・実施結果

- 回答数 102 課所
 - 取組を行った課所 93 課所 (91.2%)
 - ア 取組内容(複数回答あり)
 - ① 予約時に参加者の食べられない料理を注文しないようにした。 18 課所 (19.4%)
 - ② 予約時に参加者の構成により料理の量を調整してもらった。 5 課所 (5.4%)
 - ③ 参加者への案内時に「30・10 運動」への取組を併記等した。 28 課所 (30.1%)
 - ④ 宴会時に各テーブル等に配付のあった啓発三角柱を設置した。 60 課所 (64.5%)
 - ⑤ 開会時及び閉会 10 分程度前のアナウンスを行った。 84 課所 (90.3%)
 - ⑥ その他 23 課所 (24.7%)
- 「その他」の例: 所属の会議等での趣旨説明、小分け等の注文時の工夫
- イ 意識の変化
- ① 変わったと思う。 82 課所 (88.2%)
 - ② あまり変わっていないと思う。 3 課所 (3.2%)

③ 分からない	8 課所	(8.6%)
ウ 食べ残しの変化		
① 減ったと思う。	73 課所	(78.5%)
② 変わらない、増えた	2 課所	(2.2%)
③ 分からない	18 課所	(19.4%)
エ 効果があった取組(複数回答あり)		
① 予約時に参加者の食べられない料理を注文しないようにした。	10 課所	(10.8%)
② 予約時に参加者の構成により料理の量を調整してもらった。	4 課所	(4.3%)
③ 参加者への案内時に「30・10 運動」への取組を併記等した。	15 課所	(16.1%)
④ 宴会時に各テーブル等に配付のあった啓発三角柱を設置した。	35 課所	(37.6%)
⑤ 開会時及び閉会 10 分程度前のアナウンスを行った。	67 課所	(72.0%)
⑥ その他	12 課所	(12.9%)
●取り組まなかった課所	9 課所	
(取組期間中に宴会がなかったなど)		

4 その他普及啓発事業

(1) 岡山エコ事業所認定制度の普及啓発

事業所における排出抑制、グリーン調達等の促進等を図るため、岡山エコ事業所認定制度（ゼロエミッション事業所、一般事業所、小売店）の周知を図るとともに認定を実施した。

○ 認定件数（平成29年3月31日現在）	259事業所
・ 排出抑制、再利用に取り組む「ゼロエミッション事業所」	57事業所
・ 再生品を使用する「一般事業所」	42事業所
・ 再生品等を販売する「小売店」	160事業所

(2) 岡山県エコ製品認定制度の普及啓発

再生品の需用を喚起し、資源の循環的な利用を促進するため、岡山県エコ製品認定制度の普及啓発に努めるとともに認定を行った。

○ 認定件数（平成29年3月31日現在）	364製品
----------------------	-------

*巡回エコ製品等普及展示会等において、岡山県エコ製品認定制度と岡山エコ事業所認定制度のPRを同時に行った。

	(開催日)	(来場者数)
ア ぐらしき環境フェスティバル（倉敷市）	平成28年6月4日	約3,500人
イ 親子エコフェスタ2016（津山市）	平成28年6月12日	約1,200人
ウ フレッシュオールスターゲーム（倉敷市）	平成28年7月14日	約15,091人
エ 第12回わっしょい和んさか吉備高原フェスタ（吉備中央町）	平成28年10月2日	約40,000人
オ 中四国環境ビジネスネットB-netフォーラム2016（岡山市）	平成28年11月15日	約150人

*常設展示（テクノサポート岡山）

(ア) 展示期間	平成25年7月～
(イ) 展示場所	テクノサポート岡山 1F（アルコープ）展示室 （岡山市北区芳賀5301）

*その他、県のホームページへの掲載、普及啓発パンフレット・ポスターの作成、配布等の各種広報を行った。

(3) 海ごみ対策の普及啓発

ア 平成 27 年度から、国庫補助金を活用し、市町村の海ごみ対策支援を実施するとともに、平成 28 年 3 月に「岡山県海岸漂着物等対策推進地域計画」を策定。

イ 平成 28 年度からは、国庫補助金を活用し、市町村への補助に加え、県として普及啓発事業を実施。

・啓発資材の作成

パネル、展示物、普及啓発用リーフレット、クリアファイルの作成



啓発リーフレット



写真パネル

・県下全域での写真等展示会の開催

「写真や引揚物で知る海ごみ展示会

～私たちのポイ捨てが瀬戸内海のごみになっている!?!～

- ◆平成28年9月1日～9日、津山市立図書館
- ◆平成28年9月16日～22日、真庭市落合総合センター
- ◆平成28年10月3日～7日、美作市役所
- ◆平成28年12月21日～26日、クレド岡山
- ◆平成29年1月9日～15日、イオンモール

倉敷

- ◆平成29年1月23日～29日、イオンモール津山

・新聞広告掲載（山陽新聞 11/12、12/4）



Ⅱ 平成 29 年度の取組(案)について

1 会議の開催

(1) 第1回ワーキング会議

- ア 日時 平成 29 年 4 月 27 日 (木) 13:30~15:30
イ 場所 県庁 9 階 環境文化部会議室
ウ 出席者 委員、事務局
エ 議題
・平成 28 年度の取組実績について
・平成 29 年度の取組(案)について

(2) 本会議

- ア 日時 平成 29 年 5 月 12 日 (金) 13:30~15:30
イ 場所 ピュアリティまきび 3 階「橘」
ウ 出席者 委員、事務局
エ 議題
・平成 28 年度の取組実績について
・平成 29 年度の取組(案)について 他

(3) おかやま・もったいない!小学生ファミリーエコチャレンジコンテスト審査選考会

- ア 日時 平成 29 年 10 月下旬
イ 場所 岡山市内
ウ 出席者 審査員 4 名

(4) 第2回ワーキング会議

- ア 日時 平成 30 年 1 月下旬
イ 場所 岡山市内
ウ 出席者 委員、事務局
エ 議題
・平成 29 年度の取組実績について
・平成 30 年度の取組(案)について

(5) レジ袋削減検討会 必要に応じて開催する。

2 重点取組事業

(1) おかやま・もったいない運動の推進

「もったいない」をキーワードとして、循環型社会の形成に向けた3R（発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル））と地球温暖化防止についての県民一人ひとりの意識改革と実践活動を促すため、「おかやま・もったいない運動」を実施しており、平成29年度は次のとおり行う。

ア 「おかやま・もったいない運動」推進フォーラムの開催

- 目的：

「循環型社会形成（もったいない）」をテーマに、県民が日常生活の中で実践できることを講演、活動事例発表、パネルディスカッション等を通じて提示するとともに、県の3R関連施策や環境団体（NPO法人、地域団体、学校等）の活動内容について展示するブースを設置することにより、広く情報の発信・収集・交換を図るイベントとする。

3県民局ごとに実施する「環境保全普及啓発事業」に併せて実施する等地域の状況に応じた内容で実施する。

- 開催時期：平成29年5月～平成30年3月（予定）
- 会場：3県民局管内各2～8箇所（予定）
- 参加者：県民、消費者・環境団体、事業所、行政職員等

プログラム（例）

- ・基調講演：講師（全国的な知名度があり、造詣が深い人）
- ・活動事例発表：「もったいない」の取組を実践している団体・学校、企業
- ・展示コーナー：

岡山県エコ製品、岡山エコ事業所、3R、マイバッグ運動等の県の施策とともに、環境団体（NPO法人、地域団体、学校等）の活動内容を展示・紹介するブースを設ける。

イ おかやま・もったいない！小学生ファミリーエコチャレンジコンテストの開催（資料2）

- 目的：

もったいない精神の普及、3Rに対する意識の高揚、再生品の使用促進を図るため、小学生を対象として家庭で3Rや地球温暖化防止に向けた取組を行うコンテストを実施する。

- 主催等（予定）：

主催：岡山県・岡山県ごみゼロ社会プロジェクト推進会議

共催：地球温暖化防止プロジェクト推進会議、公益財団法人岡山県環境保全事業団

後援：岡山県教育委員会

- 対象者：県内に住んでいる小学生とその家族
- 募集方法：5月下旬頃、県内全小学校に募集案内を送付
- 応募期限：平成29年9月15日（金）
- 取組内容：
 - 平成29年8月31日までの1週間、小学生とその家族が、買物、食事、入浴など家庭での日常生活を通じて、ごみの減量や省エネ等に向けた改善策を工夫し実践する。
 - (A) ごみゼロチャレンジ…買物や食事など、日常生活を通じた3Rに向けた取組
 - (B) 温暖化防止チャレンジ…電気や水の節約など、温暖化防止の取組
- 応募方法：取組結果を報告用紙に記入の上、提出
- 表彰：
 - (個人の部)
 - ・最優秀賞 1名 表彰状・副賞（5千円相当）
 - ・優秀賞 5名 表彰状・副賞（3千円相当）
 - ・努力賞 10名 表彰状・副賞（2千円相当）
 - ・参加賞 応募者全員
 - (団体の部)
 - ・最優秀賞 1学校 表彰状・副賞（1万円相当）
 - ・優秀賞 若干 表彰状・副賞（5千円相当）
- 選考方法：

岡山県ごみゼロ社会プロジェクト推進会議委員代表による選考委員会において審査の上、決定
- 表彰式：12月(予定)に岡山市内で行う。

(2) マイバッグ運動・レジ袋削減事業の実施

ア 岡山県統一ノーレジ袋デー

毎月10日を岡山県統一ノーレジ袋デーとして、マイバッグを持参し、レジ袋を受け取らないようにする運動を全県的に実施する。

- 事業者の役割
 - ・レジ精算時に「声かけ」を行い啓発する。（レジ袋辞退カードの活用）
 - ・店頭などに、のぼり旗、ポスター等を掲出して啓発する。
 - ・「ノーレジ袋デー」当日のレジ袋辞退率を算定し、県に報告する。
- 消費者・環境団体等の役割
 - ・店舗の店頭等で、「声かけ」、「チラシ配布」などの啓発活動を行う。
- 行政（県・市町村）の役割
 - ・広報紙やポスター等の啓発資材により広報・啓発する。（県・市町村）
 - ・消費者・環境団体等が行う店頭啓発活動を支援する。（市町村）
 - ・統一的な啓発資材（のぼり旗、ポスター等）を作成し、配布する。（県）
 - ・事業者から報告されたレジ袋辞退率をとりまとめて公表する。（県）

イ おかやまマイバッグキャンペーン

県、各市町村が主体となり、消費者・環境団体、事業者（店舗）と協力して、街頭や店頭でのレジ袋削減の普及啓発活動（PR）を実施する。

- 期間：平成29年6月及び11月
- 場所：街頭（JR等の駅前）や参加事業者（店舗）の店頭など
- 内容：
 - チラシやポケットティッシュ等の啓発グッズを配布するなど普及啓発活動（PR）を行い、一般県民（住民）に協力を呼びかける。

- 事業者（店舗）
 - 行政からの要請があれば、店頭の一部を無料で提供
 - 声かけ、ポスター掲示等の協力
- 消費者・環境団体等
 - 行政からの要請があれば、啓発活動（PR）に協力
- 行政（県・市町村）
 - ・広報紙などへの掲載（文例は県で作成し、市町村へ提供）
 - ・PRを行う場所の選定及び調整
 - ・街頭や店頭等での普及啓発活動
 - ・消費者・環境団体等が行う啓発活動の支援
 - ・普及啓発活動（PR）のプレス発表

ウ 若者層への啓発

環境学習時や自主的な買い物行動が増えていく時期に「マイバッグ持参」の意識を高める。

- 小学4年生への啓発品（クリアファイル）配布
- 商業高校へ販売実習時の協力依頼
- 街頭啓発等への大学生の参加呼びかけ
- 大学入学式での啓発

合計6大学 約1,400人にチラシ等を配布した。

※岡山大学環境理工学部、岡山商科大学経営学部、就実短期大学生活実践科
学科、新見公立大学/短期大学部、吉備国際大学、美作大学/短期大学

- 各市町村成人式での啓発（チラシ配布等）

◎平成28年度マイバッグ持参率等アンケート調査 <年代別>

区分	～10代	20代	30代	40代	50代	60代～	無回答	合計
持参率%	5.9%	18.2%	27.6%	37.3%	44.8%	56.3%	50.0%	46.4%

エ 啓発資材の作成及び送付

のぼり旗、ポスター、チラシ、ステッカー、レジ袋辞退カード等啓発グッズを作成し、参加事業者（店舗）、市町村等に送付する。

また、家庭内で児童から家族へ働きかけてもらうため、環境学習に取り組む小学校4年生の児童（県内約2千人）に啓発品（クリアファイル）を配布する。

オ レジ袋無料配布中止（有料化）の取組

レジ袋無料配布中止を行う事業者を広報等で支援するとともに、レジ袋削減のためのポイント付与等を実施している事業者の取組について県のホームページやフェイスブックで引き続き紹介し、実施に向けての推進方策を検討していく。

カ 平成29年度のマイバッグ持参率の目標値

以上の啓発活動により、「マイバッグ持参率50%以上」を目指す。

◎マイバッグ持参率等アンケート調査 <マイバッグ持参率の推移>

年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29 (目標)
持参率	44.1%	45.2%	43.3%	44.5%	46.2%	45.8%	46.4%	50.0%以上

(3) 食品ロス削減の促進

ア 食品ロス・家庭ごみ削減促進事業〔予算額：763万円〕

(ア) 食品ロス・家庭ごみ削減ヒント集作成

一般家庭向けに食品ロスについての意識を高めるための啓発資材として、家庭で取り組める方策を提示する小冊子を作成・配布する。

(配布先) 市町村、消費者団体、イベント等での配布

(家庭での取組のヒントの例)

無駄な食材を買わないコツ、作りすぎない調理時の注意、冷凍保存のポイント、余剰食材活用レシピ、賞味期限の正しい理解 など

(イ) 食品ロス削減キャンペーン

家庭以外の場所から出る一般廃棄物（事業系ごみ）である食品ロスについても削減の取組を進めるため、協力店（飲食店等）と連携して来店者の食べ残し等を減らすための各種取組を進める。

(内容)

キャンペーン期間の設定

地域情報誌との連動企画によるキャンペーン参画店舗の食べきり特典の設定

など

(ウ) みんなでチェック！わが家のごみ事業

一般家庭を対象に自分の家庭のごみ発生量を把握することにより、「見える化」により、ごみの削減意識の呼び起こしを図る。

県：効果的なごみ減量化方法を提示しながら参加家庭を募集、

参加家庭にごみ計量用品をプレゼント

参加者：家庭内のごみの発生量を測定し、減量化の工夫とともに報告

(エ) マスメディアによる広報

新聞紙面に食品ロスの状況や削減のヒント等を掲載し、一般家庭向けに広報することにより取組の促進を図る。

イ その他の取組

(ア) 啓発ポスター制作(資料3)

(イ) 「30・10運動」の全県的な展開

平成28年度に実施した「県庁30・10運動」を拡大し、一般県民向けに食べ残し削減について啓発する。

参考：平成29年2月岡山県議会定例会 知事提案説明要旨

家庭でできる食品ロス削減方法の周知や奨励、会食時の食べ残しを減らす

「30・10運動」の全県的な展開など、国内で多量に生じている食品ロス

の削減に新たに取り組んでまいります。

(ウ) 「全国おいしい食べきり運動ネットワーク」との連携

「全国おいしい食べきり運動ネットワーク」（事務局：福井県）から提供される全国的な動きの情報を今後の活動の参考とするとともに、連携した啓発活動を検討する。

3 その他普及啓発事業

- (1) 岡山エコ事業所（一般事業所・小売店・ゼロエミッション事業所）認定制度や認定事業所の取組及び岡山県エコ製品認定制度を広く周知することにより、グリーン調達等の促進を図る。
- (2) マイボトル・マイカップキャンペーン等 3 R 推進につながる各種取組の情報提供を行う。
- (3) 県立図書館連携展示
平成 29 年 5 月 16 日（火）～6 月 18 日（日）
「ごみ減量と地球環境－環境月間－」（仮題）
- (4) 海ごみ対策の普及啓発
 - ・海ごみ対策啓発展示会の開催
県内 3 カ所程度において海ごみ啓発資材の展示、講演等の実施
 - ・海ごみ対策パネル展の開催
市町村庁舎、環境学習施設等公共施設でパネル展示の実施
 - ・海ごみ回収活動参加の手引き作成、配布
一般県民向けの回収活動促進のための手引きを作成、配布
 - ・広報媒体の掲載
海ごみ対策の周知を目的とした新聞広告掲載等の実施